住んで良し　訪れて良し　宮前区観光協会

宮前の風

第４号
2010.10

人が好き
緑が好き
まちが好き

発行：宮前区観光協会　編集・作成：宮前区観光情報取材記者
事務局：宮前区役所地域振興課
ＴＥＬ．０４４－８５６－３１３５　http://www.miyamae-kankou.net

おやじの会「いたか」

《（写真１）勉強会のあとで》

今回は菅生文化センターを拠点に活動している、おやじの会「いたか」を紹介いたします。
キャッチフレーズ“ 地域を生きる、地域で磨く、地域をつなぐ、世界を見つめる ”。
名前の由来「アッお父さん、いたか」。
私が訪れた時は明治大学の学生さんが講師で「大学と地域が連携して町の魅力をどう作るか」についての発表をしていました。学生さんからは「自分達は大学があるこの地域が大好き」「でも生田キャンパスには魅力が無い」「それだったら自分達が魅力を作ればいい」「個人では限界、団体を組織しよう」「大切にしていること『できる』『できない』の論議ならやらない、やりたいならやってみる」などの活発な発言がみられました。昨年の学園祭では、地域で人気の美味しいものを販売（合格せんべい、茶まんじゅう、メンチカツ等・・・）しました。今年の学園祭では、生田丼の販売を考えているとのことです。「材料はどんな物ですか？」と質問したら、即、生田の頭文字が付くもの「い」は、いくら、「く」はくじら、「た」は　たらこかな？、とのことでした。まさに若者の発想ですね。

《（写真２）額縁》

今後の予定としてはメンバーで地域の良い所を写真にとって地域カルタの作成を考えているとのことです。勉強会の後は持ちよった料理でお酒片手に意見交換をしていました（写真１）。学生さんからおやじの会への意見は？・・・。「学生は評価される場が少ない。自分達の成果の発表の場が欲しい。そして、褒められるとどんどんやる気が出てきて伸びる。一人一人が地域で必要とされている環境を作り、評価を貰ってそのあとに続けていきたい。」とのことでした。そして、おやじ達からはスピーチの行い方、イベント参加での厳しく率直なアドバイスがされていました。
７月に市民ミュージアムで行われた「おやじdeミュージアム」にも参加させて頂きました。

《（写真３）こま回し》

おやじの会「いたか」は「自然素材で作るクラフト」「うぐいす笛」の作り方を子供達に指導しました。
栗や桜の木のチップ、メンヤコイヤ、唐松の松ぼっくり、どんぐり等を接着剤でつけて「額縁」（写真２）の出来上がりです。篠竹で作った「うぐいす笛」も簡単に出来てとても素敵な音色でした。昔の遊びであるコマ（写真３）、ベイゴマ、メンコ、おやじの会手作りの竹ぽっくり、竹けん玉、桜の枝で作ったパチンコ等で大人も楽しんでいる様子が見られました。
毎月第２土曜日の夜６時～９時に講師を招いて勉強会をしています。色んな分野で活躍している方達の話を聞き自分達の活動に繋げていくのです。まさに継続は力なりですね、優しさの中にも厳しさがあり、ものすごく頼りがいが有る日本の親父の原点を見つけたような気がしました。世話人の大下さんはじめ皆さんの笑顔がとても素敵でした。

（渡辺寛美記）

地域のカルタ「絵札」「読み札」大募集

地域の身近な『宝物』を題材にした地域のカルタを作ります。
今回は、区内の中学校区ごとの制作する地域のカルタの「絵札」「読み札」を募集します。
平成24年度には、各地域のカルタの中から選抜したもので、区制30周年記念の「みやまえカルタ」を制作します。
区内の地名、神社・仏閣、自然、文化、お勧めスポット、お気に入りの場所など何でもOKです。

【応募方法】
応募用紙に、絵札、読み札、テーマ・場所のほか、必要事項を記入し応募してください。※絵札だけ、読み札だけでも応募できます。
【応募先】
〒216-8570　宮前区宮前平2－20－5
宮前区役所企画課（みやまえカルタ制作実行委員会事務局）
電話：044-856-3133　FAX：044-856-3119

観光協会特約店④

フラワーデザイン・アレンジメント制作
【ダンデライオン】

宮前区土橋6-30-20-1F
TEL＆FAX044-877-6446

「ダンデライオン」は英語で、「タンポポ」のこと。語尾に“ライオン”、確かにタンポポはライオン似、ただし百獣の王・ライオンのイメージとは真逆、可愛いライオンだ。
店頭は一見すると、普通のお花屋さんに見えるが、店内に入ると様相を一変。通常のお花屋さんで見かける花は一つもない。お客様の好みに店主のセンスを加味して仕入れた種々の花々。生花市場で仕入れる際の心がけとして、綺麗で元気な生きのいい花々を選ぶ、と店主の紺野英和さん。
ダンデライオンのコンセプトは、花・葉物と、あらゆる素材との組み合わせの妙の追及で、ドア飾りのリースや、ブリザーブドフラワーの制作等がある。後者は保存性に優れたカーネーション・バラ・菊・ガーベラ等に薬品処理して長期保存を可能にし、藁と小枝を編んだりした器に生けたもので、お誕生日やお別れ会のフラワーギフトとして注文を受けて制作。またお客様の要望を受け、店内で週２～３回、アレンジメント、ブーケ制作のレッスンを実施。レッスンは、技術的な向上もさることながら、制作を楽しんでいただけるよう心がけている、と紺野さん。
またダンデライオンでは、ウェディングにおけるブーケ制作や、出張し式場装飾も手がける。数百名出席の式場からアットホームなレストラン・ウェディングまで対応する。
紺野さんのクリエイティヴ・センスで制作される、花・葉物と色々な素材とのコラボレーションで、楽しさ際立つ式場の雰囲気となることでしょう。

（坪井喬記）

《ブリザーブドフラワー制作レッスンの風景》

《ブリザーブドフラワー作品》

ＪＡセレサ川崎 元気・笑顔・絆リポート

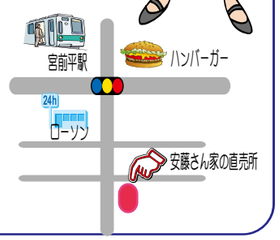
超甘い！ 宮前の特産品 安藤さん家のイチジク・キウイ

宮前区小台で果樹栽培の安藤園を経営する安藤さん。
8月から10月末日まではイチジクのもぎ取りと販売を行い、11月からはキウイフルーツの販売を行います。イチジクは無農薬に近い状態で育成した完熟もの。1㌔1,000円、1個あたり100円で販売し、地方発送はクール宅配便でお届けします。

キウイフルーツは大きくて甘みがあり、果肉の緑色が濃いブルーノという品種。こちらも㌔あたり1,000円で販売しますが、例年10日ほどで完売となります。安藤さんによると、今年は暑い日が多いのでイチジク、キウイとも出来は良いとのことです。
直売所は宮前区小台2丁目4の3
TEL044-877-0195　FAx044-877-0374
田園都市線宮前平駅より徒歩2分

甘いよー

イチジクの自動販売機



JAセレサ川崎
http://www.jaceresa.or.jp

第５回フォトコンテスト作品大募集

「私の好きな風景、残したい風景」
宮前区内の風景で、伝えていきたい大切な風景
「まちづくり活動」
市民活動団体のいきいきとした現場風景
詳しくはチラシ等をご覧ください！！

募集 おたより

宮前区で気になる話題や宝物などの情報がありましたら、ご連絡ください。また、会員・特約店も募集中です。
みんなで楽しい紙面にしていきましょう！！

つながるみやまえ　宮前区観光協会ホームページ
http://www.miyamae-kankou.net

応といま前今てお＿だスにと和に場ン井のしな雲そ▼**編**
募出てす￢日迎わ渡ヨの咲え美出者グ喬で ｀っをの白**集**
し合み ゜地こえり辺 ゜季くも ）会でに￣しこて仰日幡**後**
てうる考域のる ｀寛う節花の▼え熱出▼よれもぎ ｀八**記**
みことえカ頃秋い美んでがが花て気か第うか猛み境幡
まと今なルでをよ ￣とす好多言感ムけ12から暑た内大
せがまがタす楽い▼ほねきい葉謝ンた回 ｀何続もで神
んあでら￣ ゜しよ￢め ゜ででの ｀ム ゜み若かきの五の
かり気自の￣み秋異て花すす由感ン会やし好での色夏
？まづ分読＿たっ常あが ゜ね来謝 ゜場まかい未九の祭
＿すかのみ永い！にげ咲そ ゜にでたはえ区こだ月瑞の
（高 ゜な住札田と宮暑まいろ私はしくた太民と兆に
橋みかむを泰心前かしたそは ｀たさく鼓祭が候
弘なっ地考雄か区っよらろ素女 ゜んさミであな
幸さた域え ）らでたうきコ朴性＿のんー？る
）ん風をて▼願初夏 ゜れスなに青感のテ＿
も景歩い宮うめも￣いモ野た柳動来イ坪

宮前区の歴史

白幡八幡大神
宮前区白幡台

白幡八幡大神の禰宜舞

《禰宜舞・猿田彦命》

白幡八幡大神の夏祭、秋の例大祭に、禰宜舞は舞われる。禰宜舞は、白幡八幡大神の神主・小泉家に代々伝わる、口伝による相伝の舞で、先ず素面による四方祓いの舞いのあと、面・衣装・持物を取り替えて、猿田彦命・天鈿女命・天児屋根命・彦火火出見命・大山祇命の神々を一人で舞う。今回は白幡八幡大神の歴史と、禰宜舞の興りについて紹介します。

白幡八幡大神の前身は平安時代に、源頼義によって創建。その経緯は、源頼義は朝廷から陸奥守・鎮守府将軍を拝命し任地に赴くに際し、陸奥に勢威を振う安倍一族の平定を鎌倉八幡宮に誓願、「この使命が成就したら、鎌倉から奥州へ向かう街道10里毎に八幡祠を造る」と。

源頼義は再度の任期中に遂に安倍一族を平定して凱旋、鎌倉八幡宮から10里の当地に神社を奏祠して誓願を果たす(1061年)。その後、戦乱や国内の乱れで当神社は荒れ果てたが、鎌倉に幕府を開いた源頼朝が、祖先の時歴を調べて1192年に当神社を再建、鎌倉八幡宮から御霊分けして当神社は源栄山八幡宮と称される。その頃、枡形山に居を構える稲毛三郎重成はこの土地の領主となり、当神社は稲毛領五七ケ村の総鎮守となった。現在の社殿にも“稲毛総社”と印される。当神社が白幡八幡大神と称されるようになったのは明治6年、郷社に列せられた後のことである。

小泉家は、天正19（1591）年に神供免田70余石を賜って徳川家康に召し抱えられ、源栄山八幡宮の神主に任命されて以来、代々神主を勤め、当代で25代を数える。

さて、白幡八幡大神の禰宜舞の由来は、徳川家康が慶長５(1600)年、関ヶ原に出陣するに当たり、戦勝祈願のため平村白幡八幡社の神主小泉氏に太太神楽を興行させたのが始まりである。今日、禰宜舞は7月の夏祭、9月の例大祭に奉納される。

９月の例大祭当日、白幡八幡大祭の入口の両側には、白地に「稲毛総社　白幡八幡大神」と染め抜かれた幟を掲揚。参道の階段を上がると、境内の一角では子供相撲が開催され、声援と歓声で沸き立っていた。

社殿では7人の神官により祝詞があげられ、40人程の氏子が参列、式典の最後に、神主が玉串を神殿に捧げたあと、代表の氏子４人が神前に玉串を捧げて式典は終了した。

式典が終わると神殿前の広間の椅子が片付けられ、禰宜舞を見に例大祭に参集した善男善女が社殿内に招き入れられた。前後左右を見て驚かされたのは、小学生以下の子供が多いことだ。大人２に対して子供３の割合だ。

《団子が配られ子供達は大歓声》

いよいよ禰宜舞が始まる。先ず古式の帽子と衣装をつけた神主が素面による四方祓いを舞う。そのあと五座の舞、最初に登場するのは猿田彦命。

猿田彦命が登場すると、広間のあちこちから「天狗だ！天狗だ！」と子供達の声が高く挙がった。猿田彦命の顔は真っ赤で、鼻は子供達の声のとおり天狗のそれだ。

猿田彦命、天鈿女命の舞のあと、中入れとなり、５，６人の氏子が現れ、菓子の詰め合わせの袋を配り始め、子供達の歓声が挙がった。

中入り後、天児屋根命そして彦火火出見命を舞う。彦火火出見命の舞いの最後に、小さな弓に小さな矢を番えて形ばかりに射ると、矢は観客の上にへなへなと力なく落ちる。その矢を受け取った者は大喜び。矢は4本射られ、受けたのは大人が多いが、子供が受けた矢もある。それらの矢は家に持ち帰り、破魔矢として神棚などに供える。

最後は大山祇命の舞。ひととおり舞いが終わったあと見物の子供達の間から歓声が挙がった。大山祇命が見物する人々の上に、団子を撒き始めたからである。大山祇命が舞台の袖に引っ込むのと入れ代りに４、５人の氏子が舞台に現れ、舞台奥に置かれた樽を二つ、舞台の前面に持ち出して来る。樽の蓋を開けると中には団子がいっぱいに詰まっている。「ウワアッ！いっぱいダア！」「沢山ダア！」と期せずして子供達が大きな歓声を上げる。それから氏子達によって見物人の上に団子が雨霰とばら撒かれる。子供達の沢山の手が上に伸び、大人達も負けずと団子を受け止めようと必死だ。が、何故か、取り合いという雰囲気は全く感じられない。みな楽しみながら、一個でも多く団子を受け止めようと競争している。

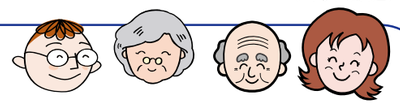
団子配りがおわり、社殿内から次々と出てくる子供達の顔は、どの顔も喜びに満ち溢れている。いっぱいの団子を入れたビニール袋をぶら下げた子供が何人もいる。

例大祭に参加して、何よりも笑顔、笑顔に満ち溢れた子供と大人の集団を目の当たりにして、こちらも仕合せな気分でいっぱいになった。地域社会における温かい集まり、交流の場を設ける白幡八幡大神の貴重な存在意義をしみじみと感じさせるひとときであった。

（注）白幡八幡大神の歴史と、禰宜舞の詳細については、宮前区観光協会のホームページ【http://www.miyamae-kankou.net】をご覧ください。

（坪井喬記）

会員募集　いっしょに夢づくり



宮前区には、名所遺跡・文化財・郷土芸能・地域産業など、地域の資源が豊富にあります。宮前区観光協会は、地域における観光事業の振興を図り、郷土・文化の発展に向けて事業展開することにより、地域の皆様が誇りと愛着を持てる、活力あふれる宮前区を創造していきたいと考えております。

宮前区観光協会にご賛同いただき、ご入会いただける方は、下記事務局までご連絡願います。

会費（年額）は個人会員１口　1,000円
団体会員１口　5,000円
法人会員１口　10,000円

なお、会員様におかれましては、宮前区内特約店（８店）にてお買い物の際は、各種サービスを受けることができます。

申し込み先：宮前区役所地域振興課
電話044（856）3135　FAX 044（856）3119

宮前区観光協会特約店

中国料理
嗜唯呶（シード）
土橋7-1-3
TEL.856-0100

宮前平 源泉
湯けむりの庄
宮前平2-13-3
TEL.860-2641
http://www.yukemurinosato.com

駿河屋製菓（有）
お好み甘納豆
芋納糖
ココア甘納糖
野川544-12
TEL.766-7797

チーズ&プリン工房
神木本町4-17-1
TEL.877-2823

区民祭初登場！「パンポップパラダイス」川崎から全国へ、紅白へ向かって!!

《コンサート風景》

「パンポップパラダイス」は、打楽器スティールパンにより演奏する８人構成のバンドだ。

スティールパンは「20世紀最後にして最大のアコースティック楽器」と称され、カリブ海に浮かぶ島国トリニダード・トバコ共和国で発祥の楽器。ドラム缶から作られた音階のある打楽器で、独特の倍音の響きをもつ音色が聴く人を癒す。その「パンポップパラダイス」が、10月17日の区民祭（於・川崎市中央卸売市場北部市場）に初登場。そこで、同バンドのリーダー・オカピ（岡真樹子）さん、代表・アツシ（柴田篤志）さん、メンバーのナカポ（中野優希）さんに、バンド結成から今後の展望・目標について伺った。

「パンポップパラダイス」は、洗足学園音楽大学の卒業生の20代8名で構成。同大学は自由な雰囲気のなか打楽器を選択する生徒も多く、その中でスティールパン演奏のサークルに参加。「2006年、地域の夏祭に参加、その演奏が音楽関係者に注目され、勧められて『パンポップパラダイス』を結成しました」とオカピさん。

《８人のメンバー》

結成の翌年に「PARADISE」を、2009年には「SMILE!!!!!!!!! をリリースしてメジャーデビュー、そして今年はオリジナル３RDアルバム「そらふる」をリリース。その間、川崎、横浜を中心に県内から関東一円その他300か所以上でのイベントライブ出演実績をもつ。

演奏曲は、「当初はカバー曲が多かったが、セカンド、サードアルバムではオリジナル曲を多くしている」と作曲・編曲担当のアツシさんは、「スティールパン発祥のトリニダード・トバコの曲に似せるのではなく、日本人のニーズに合った、日本のポップスを目指す」と語る。宮前区在住のアツシさん、「区内を散歩しながら曲想をえて曲づくりに努めている」と言う。また、ナカポさんは、トリニダード・トバコを訪ね、現地のバンドに参加、「その経験を今後の演奏に役立てたい」と語る。

「パンポップパラダイス」のライブでは、舞台背景を彩る向日葵、また演奏者の胸を飾る向日葵のコサージュが目に止まる。「向日葵はトレードマーク。いつも太陽に向かう、笑顔のイメージから」とオカピさんは、「スティールパンで演奏してのパフォーマンスを川崎から全国へ発信していきたい。夢は紅白歌合戦に出ること」と抱負を語る。夢の実現に向けその熱い思いが区民祭の舞台で満開！あたかも向日葵のように！今年の区民祭は「パンポップパラダイス」の登場で、一層熱く盛り上がるに違いない。

（坪井喬記）

秋の花紀行

女郎花（オミナエシ）

女郎花（オミナエシ）

蔵敷バス停そば、平瀬川土手に咲く女郎花（オミナエシ）花言葉：「はかない恋」「優しさ」「忍耐」秋の七草のひとつとして万葉の時代から有名です。名前の由来は、昔女性の食べ物とされて粟飯（アワメシ）の色に小花が似ているため、女飯（オミナメシ）がなまったものとか、花の姿が女性を連想させる等、幾つかの説があるようです。女郎花によく似ていて白い花を付ける植物には男郎花（オトコエシ）という名前が付けられています。風にふらりふらりそよぐさまは如何にも『はかない恋』をしている『美人』を連想させます。

酔芙蓉（スイフヨウ）

咲き始めは白　昼間は淡い紅色　夕方になると紅色

まるで美人がお酒を飲んで赤くなっていく様にも似ているので酔芙蓉（スイフヨウ）とうい名が付けられています。『蚊帳の中から花を見る、咲いてはかない酔芙蓉・・・』風の盆恋歌より。

障がい者支援施設「みずさわ」の正門付近に咲いています。

（渡辺寛美記）

川崎市住宅相談登録店
高橋工務店
新築・リフォーム・エコハウス
住宅版エコポイント取扱店
お気軽にお電話下さい。
菅生2-21-12
TEL. 977-2348

DANDELION
www.d-lion.com
Tel & Fax 044-877-6446
営業案内　営業時間 10:30－19:30　定休日 第一火曜日・毎週木曜日
店舗住所　216-0005 宮前区土橋6－3－20－1F
仕事の内容
ウエディングブーケ・花束・アレンジメント制作
フラワーデザイン・アレンジメントレッスン

森永宮前
ミルクセンター
蔵敷販売所
菅生5-3-8
TEL. 977-3646

こころ和むお花が揃う
竹水園
聖マリアンナ玄関前
菅生2-16-1
TEL. 976-3887
ギフトフラワー・フラワーアレンジメントお届けします。

宮前区観光協会特約店